

農を継ぐ

東北大豆セミナー
優良事例紹介



農事組合法人都鳥

農事組合法人都鳥

令和4年度全国豆類経営改善共励会（大豆集団の部） 農林水産大臣賞受賞



岩手県奥州市

県南部に位置し、県内有数の水田地帯
大豆の作付面積 1,650ha（県全体の34%）
県内でも有数の大豆生産地域



奥州市胆沢南都田都鳥地区の概要

- 基盤整備事業が実施され、比較的大規模な農地となっており、営農には恵まれた地域
- 農家の大部分は兼業農家
- 近年は農作業委託の希望が多くなってきており、一部の担い手に大きな負担

法人の概要等

農地集積による生産性の向上と低コスト化を図り、組合員の共同の利益を増進させることを目的に設立

○概要

耕地面積	2 5 0 . 5 ha
組合員数	1 8 0 人
農業従事者	2 3 人
設立年月日	平成 2 7 年 2 月 1 5 日

○体制

理事 12名、幹事 2 名、事務局員 1 名

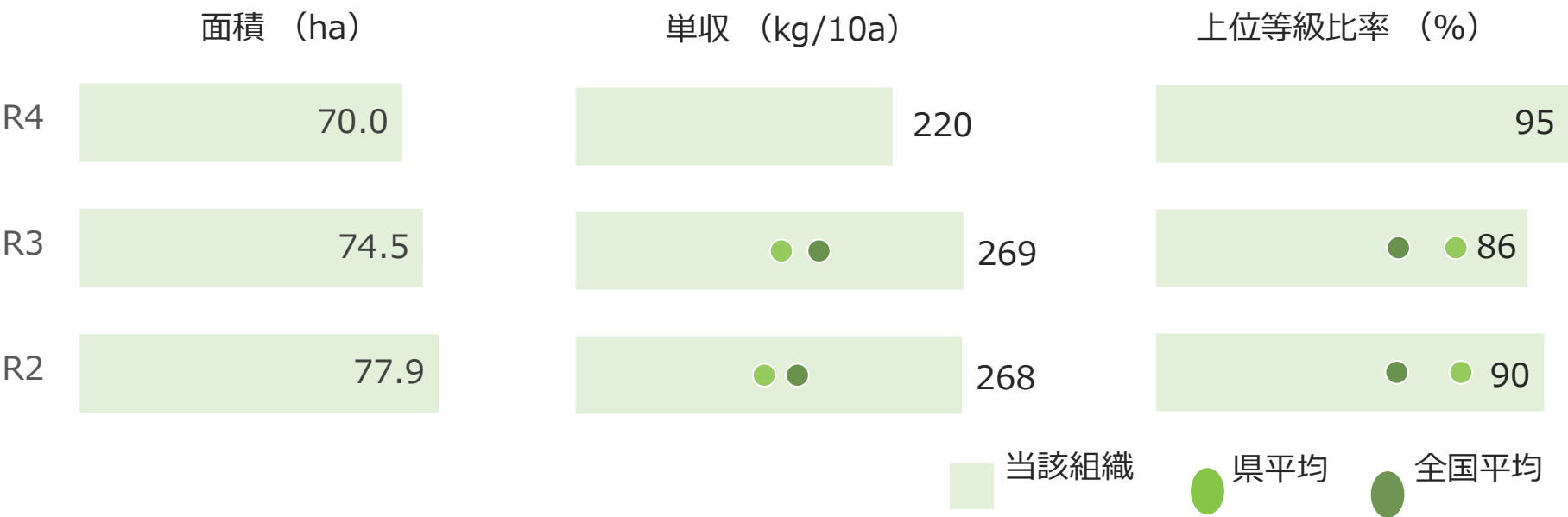
経営の状況

【令和 4 年産】

大豆 70ha（リュウホウ）

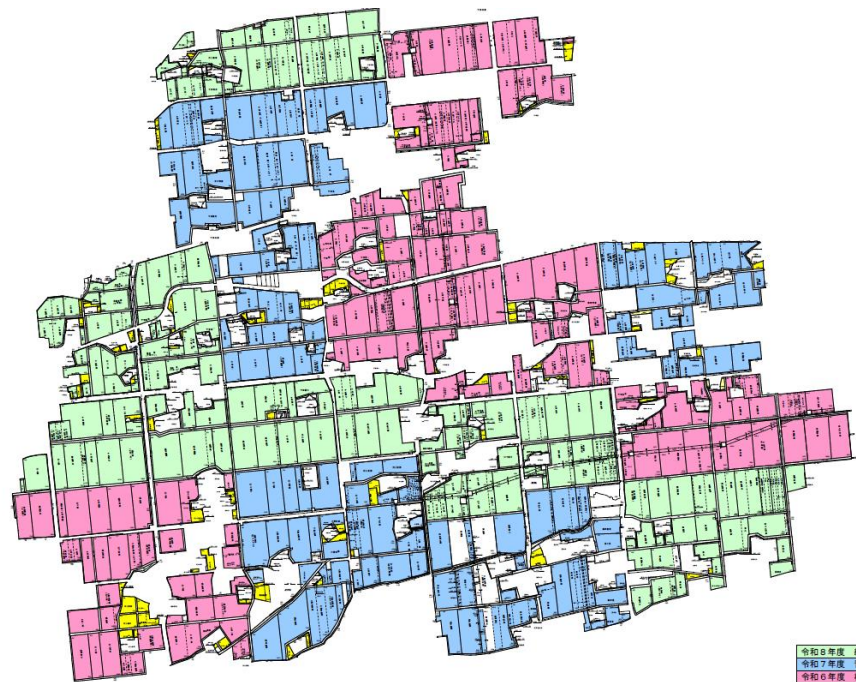
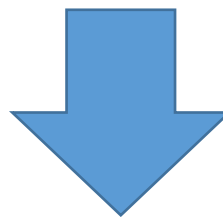
水稻 177ha

【大豆】



栽培上の特色 作付け計画

水系ごとのブックローテーションを実施
(3年に1度の大豆作)



隣接ほ場からの漏水を軽減（湿害対策）
連作回避により、雑草、病害虫発生を抑制

栽培上の特色 排水対策、耕起

- ・ 排水の良いほ場の選択
- ・ 播種前に必ず 2 回耕起を実施

秋 1 回



春 1 回

又は

春 2 回



高い碎土率を確保

栽培上の特色 播種

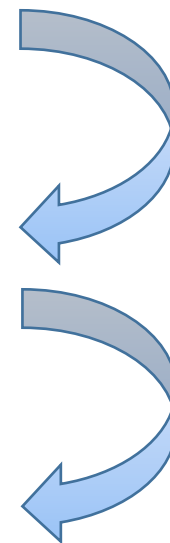
- ・ 5月末～6月上旬・ ・ 播種作業
播種機 3 台の 3 班体制で迅速に播種（適期播種）
施肥は側条施肥（肥効を高めている）
- ・ 播種後すぐに土壌処理剤を散布



**良好な初期生育を確保
雑草発生をしっかりと抑制**

栽培上の特色 雑草防除

- ・ 6月末～・・・中耕
ディスク式中耕培土機により高速作業
- ・ 7月上旬・・・茎葉処理除草剤を散布
- ・ 7月上中旬・・・培土
茎葉散布後、間を置かず実施



雑草に生育する隙を与えずしっかり抑制

栽培上の特色 病害虫防除

- ・ 9月上旬・・・紫斑病・マメシンクイガ防除
連作しないことで病害虫の発生リスクを抑制



適期の1回防除でコスト低減



栽培上の特色 収穫

- ・ 10月下旬～
- ・ ・ 収穫

汚粒防止のため、オペレーターに刈高を意識統一

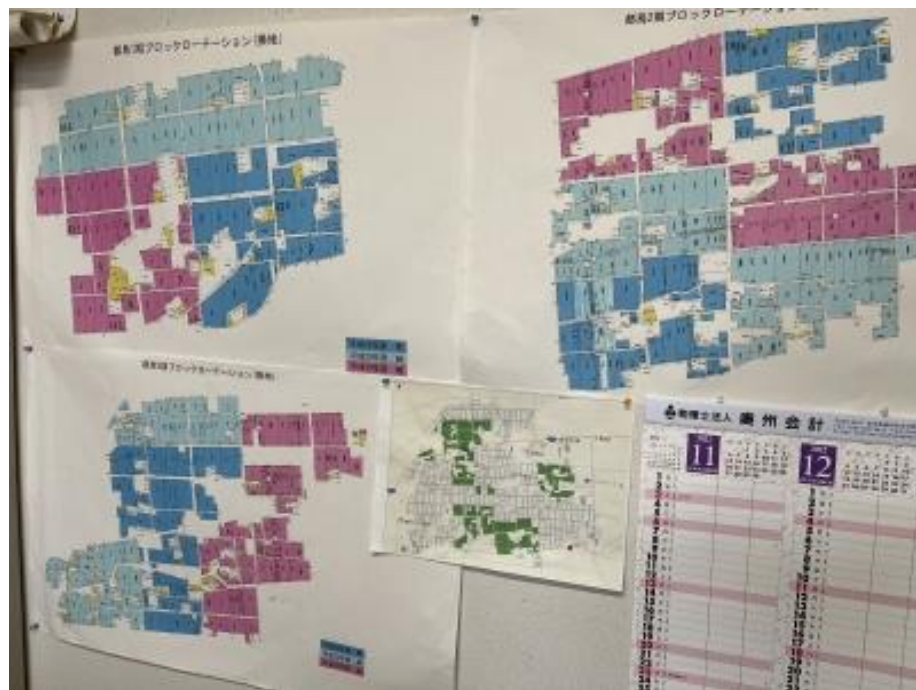


高品質化を実現



栽培上の特色 各作業共通

作業進捗状況を把握するため、日報記入
事務所に掲示している地図に書き込み、「見える化」



栽培上の特色 乾燥調製

令和4年度に大豆乾燥調製施設を取得、稼働



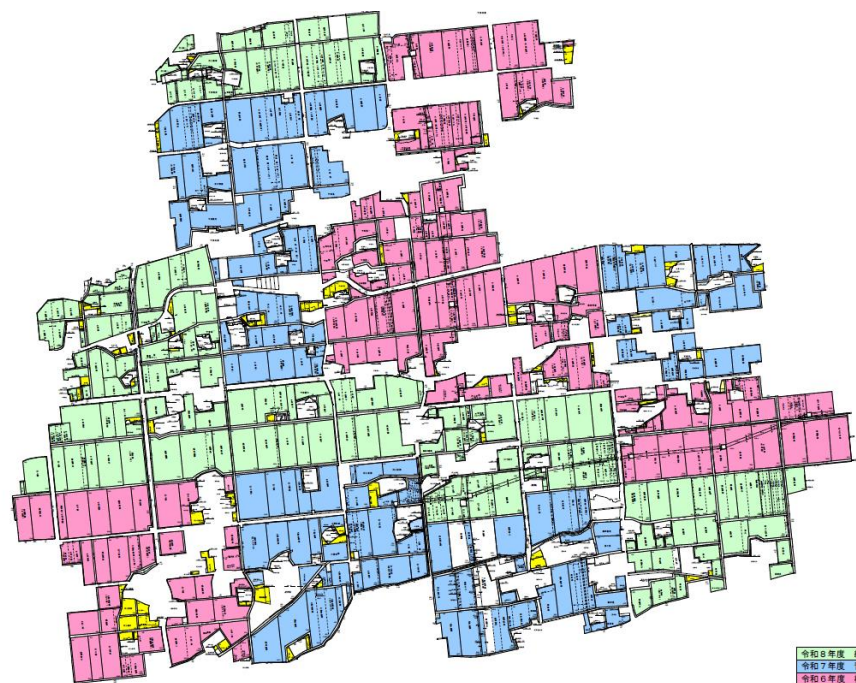
主な設備

荷受ホッパー	1基
汎用遠赤外線乾燥機	4基
個体計量器	4基

粗選機	1基
大豆選別機	2基
汎用色彩選別機	1基

まとめ（工夫している点）

- 連作障害による収量減を防ぐため、大豆作付を1年でのローテーションを実施
- 作業進捗状況を把握するため、日報記入、事務所に掲示している地図に書き込みし「見える化」
- 基本技術の徹底
 - ① 耕起の精度を上げる
 - ② 大豆汚粒防止のため
刈り高の徹底
 - ③ 適期作業 など



(参考) 所有する施設及び農機具

コンバイン 2台

ハイクリブーム 2台(R5から3台)

大豆播種機 3台

大豆用培土機 3台

フォークリフト 2台

農業用ビニールパイプハウス 2棟

9 m × 4 0 m 9 m × 2 0 m



基盤整備後、法人化後の地域の変化

●基盤整備により

- ・ 圃場の大規模化や農機具の大型化により作業の効率化が図られた
- ・ 暗渠等により、圃場条件が改良されて、畑作物の作付けが容易になった

●法人化により

- ・ 農地の集積が図られ、効率的な農地の活用が可能となった
- ・ 肥料の一括購入等により経費の節減が図られた

今後の課題・展開方向

- 担い手人材の確保
- 水稻及び大豆の栽培計画の見直し
- 大豆乾燥調製施設の活用及び運営体制
 - ・近隣集落からの受託を増やしていく



ご清聴ありがとうございました